

<平成22年10月>

三鷹市議会議員 渥美 典尚

あつみのりひさNEWS



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会

電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338

www.atsuminorihisa.net an@atsumi-ya.co.jp

9月1日から9月29日まで、平成22年第3回定例会(9月議会)が開催されました。

今回の議会では、平成21年度の三鷹市の決算が審議されました。平成21年度は22年度ほどではなかったにしろ、市税の減収がありました。前年度比で市税が減収したのは5年ぶりのことでした。今年度(22年度)はその数倍の市税減収があり、また、次年度(23年度)も市税減収が見込まれています。ですから次年度予算を組む上でも、21年度決算をしっかりと鑑みることが大切です。

詳細は、広報みたか、みたか議会だより、三鷹市ホームページなどをご覧ください。

## 平成22年第3回定例会にて

### 市政に関する一般質問をしました。

◆三鷹市議会9月議会にて、市政に関する一般質問を行いました。これで渥美典尚の一般質問回数は連続計14回となりました。

### 中学生に適正サイズの机・いすを！

現在、市内公立中学校の教室で使う机といすは生徒の体格にかかわらず、旧JIS規格での「特サイズ」か「1号サイズ」のみしかありません。これらは適応身長が163cm以上向けとされています。多くの中学生が適応以下の身長ですから、大勢の生徒が体格に合っていない大きな机といすを使っていることとなります。着座姿勢は良好な成長・生育に

大きく関わり、また、学習時の疲労や効率にも関わる大切なことです。適正サイズの机・いすを使わせるということは文科省の指導でも明文化されていますが、今まで見落とされていた事項でした。そこで学校設置者である市および教育委員会に適正サイズの机といすの使用を学校に促すよう指摘しました。

今後、市では適正サイズの机・いすが使われるよう学校側に指導していくとのことです。



### 五中の遺跡調査について

五中の体育館新築にあたり、遺跡調査が行われました。相当数の出土品がありましたが、新築開始に合わせて調査終了となりました。まだまだ出土する可能性のある場所なので、調査終了の判断タイミングについて聞き、また、陳腐化した五中や教育センターの遺跡に関する展示のリニューアルを提案しました。

調査の終了は遺跡調査会の専門的判断によるもので、新体育館を建設してもその下になってしまう遺跡の損壊がない地点まで調査をして終了としたとのことです。



## 市内小中学校全校に冷房設置を！

今年の夏は耐え難いほどの猛暑でした。三鷹市内小中学校の一般教室には4校にしか冷房設備が無く、学校現場でもたいへんな思いをした夏でした。児童生徒ひとりあたり、30ワットの白熱球と同程度の発熱をしているとのデータもあり、教室で大勢が学んでいるというだけで暑さは相当なものです。

そこで、渥美典尚が所属する三鷹市議会政新クラブ（10名）では、猛暑対策として全学校への冷房設置を市に提起いたしました。校庭芝生化よりも先にするべきであろうという意見もたくさん頂いた今夏でした。

今年のような酷暑への対策をできる限り早い時期に対応されるよう発言し続けて参ります。



## 平成21年度三鷹市決算について

9月議会において、平成21年度の三鷹市の決算が審議・承認されました。決算に関し、いくつかのポイントを説明させていただきます。

◆一般会計の歳出決算額は、約620億円、前年比で約14%の増加でした。これは、東台小学校の建て替えや中央保育園及び母子生活支援施設の建て替え、学校耐震補強工事などによる「都市の更新・再生」を進めるための取り組みや、新ごみ処理施設整備に伴うふじみ衛生組合負担金の増、大沢総合グラウンド整備事業費の増などによるものが大きな理由です。建設整備関連の費用はその年ごとに変わるものではありませんが、この先数年は老朽化した施設の更新や、耐震化対応など順番に行わなくてはならない箇所が多々あり、なかなか削減は難しいと考えます。多摩青果跡地もそれに関連して計画が行われています。

◆**経常収支比率**は88.3%で、前年比0.5ポイントの減でした。これは、自治体における「義務的な費用」の割合を示すもので、地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使われます。人件費・扶助費・公債費などの義務的な性格の経常経費に対してどの程度充当されているかをみることで、その団体の財政構造の「弾力性」が判断できるとされています。一般に都市部にあっては、70%から80%が適当とされ、80%を超えると財政が硬直化してきているとされています。

三鷹市では80%を大きく超えており、新たなアイデアによる新規事業・十分な予算での柔軟な施策がとりにくい状況といえます。

◆**財政力指数**は、1.265ポイントで、前年比0.023ポイント上回りました。この数値は地方公共団体の財政力を示す指標で、“1”を超えるほど財政に余裕があるものとされています。首都圏では1を超える自治体が多いのですが、地方では1以下の自治体が多く、またこの不況で1を割ってしまった自治体も多いです。地方の財源不足は更に深刻です。

◆**実質公債費比率**は5.1%でした。これは、市の決算額に対する借金返済の比率です。国の基準では25%がボーダーですので、いまのところは安全圏内といって良いところです。

◆いずれにしても不況下の税収減は深刻です。国や都の交付金もどうなるかわかりません。事業の選択と集中、後の世代にツケを残さぬような市政運営を提起して参ります。

## インフルエンザの季節到来です。

流行に備え、予防注射を積極的にうけましょう！ 従来型インフルエンザの予防接種は、もしも強毒性新型インフルエンザが発生した際の対応にも有効とされています。

◆.....◆  
手作り・簡易印刷のNEWSです。